



祝 U18 日本一!

陸上競技部 重谷 大樹君

陸上競技部



本校の陸上競技部所属の1年生、重谷大樹君(三国中)が、昨年10月19～21日に愛知県名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムで行われた第12回U18日本陸上競技選手権大会の200m走において、21秒23(高校1年生 歴代5位)の好成績で優勝し、見事に全国のU18の頂点に立ちました。重谷君は、今年度はほかにも第73回国民体育大会陸上競技への出場も果たし、各種大会で好成績を出しています。またアジアユース大会の日本代表に内定しています。今後の活躍にも期待したいです。

弓道部

弓道部男子団体 全国私立3位入賞!

私たち弓道部は昨年12月27～28日に明治神宮武道場至誠館弓道場で開催された第9回全国私立高等学校弓道大会に参加し、男子の部でチーム戦、トーナメント戦でともに全国の私立高校の中で3位に入賞しました。明治神宮という大規模かつ不慣れな環境のなか、全国のハイレベルな学校と緊張感のある試合で結果を残すことができたことは、とても良い経験となりました。この経験を活かして、4月から始まるインターハイ予選も頑張ります。

弓道部 副部長 宮崎 浩彰(三輪中)

◎弓道部男子団体メンバー

宮崎 浩彰(三輪中) 小川 拓朗(大和中) 角野 響一(大原中)

美術部

JR二日市駅に絵馬を奉納

私たちは、毎年12月にJR二日市駅に奉納するための絵馬を制作しています。今年の大絵馬は新春の華やかさを出すため満開の桜を鮮やかな色づかいで表現しました。受験生にこの絵馬の写真を撮ってもらい、合格祈願のお守りにして欲しいという思いで描きました。また、小絵馬と中絵馬も個性溢れる良いものに仕上がっているので、是非見てください!これからも、多くの人を楽しませる事が出来る作品を作っていこうと思います。

美術部部长 前田しおん(筑山中)



和太鼓部

県大会で優良賞受賞!

本校の和太鼓部が、昨年の11月4日(日)にサザンクス筑後で行われた第33回福岡県高等学校総合文化祭郷土芸能部門(和太鼓)に出場し、全体の第3位となる優良賞を獲得しました。

和太鼓部は、現在部員が59名で、創部して5年目の部活であり、本校の紫祭や体育祭などの学校行事や周辺地域の催し物で演奏するなど多くの場面で活躍しています。今年も様々な場面で素敵な演奏をしてくれることでしょう。



吹奏楽部

九州大会で金賞・定期演奏会のお知らせ



私たち吹奏楽部は昨年10月に行われました九州マーチングコンテストとマーチングイン九州にそれぞれ出場し、両大会において金賞を受賞することができました。私たち3年生にとっては最後の大会となりましたが、普段の練習の成果を発揮し、演奏することができました。応援に来てくださった皆さん、本当にありがとうございました。

3年生は引退・卒業となりますが、来る3月17日(日)、筑紫野市文化会館にて、第33回定期演奏会を行います。平成最後のテーマは「愛」です。演奏会は3年生も参加し、九州最大の156名の部員による、エネルギッシュなステージをお届けいたします。是非、ご来場ください!

第33回定期演奏会実行委員長 部長 小出 愛(平野中)

課題研究発表会

機械科

本校3年機械科の生徒が昨年11月19、22日に課題研究発表会を実施しました。最優秀賞に輝いた3Dプリンターの製作では途中で部品が破損して再度やり直すなどのトラブルもありましたが班員で話し合いながら改善し、作品を作り上げるなど協力する重要性なども経験できた内容でした。また革細工の作成では卒業記念でクラス全員分のキーホルダーを作るなどし、当日は担任の先生に贈呈する様子などもあり、3年間の思い出も詰まった集大成の発表会になっていました。機械科の多くの生徒が卒業後、就職していきます。今回の課題研究の中で実践して経験したことを、就職先でも活かしていってほしいです。



私たちのグループは今回、「3Dプリンターの製作」というテーマで課題研究を行いました。3Dプリンターは精密機械で細かい部品が多くあり組み立て作業が難しかったですが、班員とコミュニケーションをとっていくうちに作業効率が上がっていったので作品もスムーズに組み立てることができました。作成していく中でチームワークの大切さを改めて感じることができました。

高校生活最後の行事でこの班員と一緒に最優秀賞が取れたことは3年間の良い思い出になりました。この経験を活かし就職先でも更に成長し活躍できる人材になれるように努力をしています。

3年機械科 山中 洋輝(篠栗北中)



オーストラリア 短期英語研修報告会

本校では毎年7月の初旬から3週間、2年生の中から選抜された生徒によって、オーストラリア短期英語研修が実施されています。現地では、研修校であるマイアミ・ステイト・ハイスクールで授業を受け、現地の人々と交流を深めることによって、英語によるコミュニケーション能力を身につけ、豊かな国際感覚を養います。

今年度も30名の生徒が研修生として、3週間のオーストラリア短期英語研修へと出発致しました。そして研修の様子を11月19日(月)の報告会にて発表しました。



研修に参加した生徒が、6つのグループに分かれ、約3週間の研修を通して学んだことや感じたことなどを発表しました。現地の高校生とコミュニケーションを取ることで、『言葉を伝えることの難しさや嬉しさ』、オーストラリアの食文化や国民性に触れたことで『外国や英語に対する考え方』が大きく変化しました。参加した生徒それぞれが貴重な体験をして、かけがえのない財産を手に入れて来たのだらうと感じました。オーストラリア短期英語研修で得たものを、これからの学校生活の中で十二分に発揮して欲しいと思います。

ジュニアマイスターゴールド

本校機械科3年生、7名がジュニアマイスターゴールドに認定されました。

ジュニアマイスターとは工業系高校に在学している生徒を対象に各種の国家資格、検定に合格し取得した場合に区分表に記されている点数が与えられ、ゴールドは45点、シルバーは30点、ブロンズは20点で授与され認定を受ける制度です。ジュニアマイスターは企業の方にも認知度が高く、就職試験においても高校在学中の頑張りの一つとして高く評価されています。また各種資格は就職した際に手当等を支給され、資格の重要性が高くなっています。

今年度は3年機械科の大園 健史(平野中)、加藤 大輝(甘木中)、山田 裕朗(那珂川南中)、都甲 裕貴(基山中)、中村 親将(春吉中)、細井 柊利(筑紫野南中)、竹内 丈生(筑紫野中)が認定されました。中でも細井君は国家資格の第一種電気工事士、第二種電気工事士、ボイラー技士、危険物取扱者乙種4類を含めた国家資格14個、検定10個を取得し合計72点でジュニアマイスターゴールドに認定されました。他の6人についても同様に国家資格8個以上を取得し認定をされています。



オーストラリア短期英語研修を通して、私は「相手に伝える」ことの難しさを改めて感じました。研修で私たちが感じたことを他の人にも伝えるべく、日本に帰国後も報告会に向けて同じグループの人と何度も話し合いを重ね、スライドショーの作成、日本語と英語を交えた発表の練習をしてきました。初めてのことはばかりで戸惑うこともたくさんありましたが、お互いに意見を出し合い、改善していくことで報告会当日は今までで1番といえるくらいに納得のいく発表ができ、その上、他グループの発表も聞くことができ、とても充実した時間になりました。

私は今回の研修を通して、より一層国際的な事柄に興味を持つようになりました。自分の進路実現、そして今後の生活の様々な場面において、研修や報告会で培ったことを活かしていけるよう、今後も努力を続けていきたいです。

恵良 美咲(警固中)

